

国際委員会

「BI-RADS-US 改訂にむけて」 座長のことば

座長:久保田 一徳(獨協医科大学埼玉医療センター 放射線科 主任教授)

白岩 美咲(姫路医療センター 放射線診断科 医長)

2024年にACR(American College of Radiology)が作成するBI-RADS US(Breast Imaging Reporting and Data System)のアップデートが予定されており、これに関する変更点がすでに海外の諸学会を通じて伝えられている。

BI-RADS はマンモグラフィ、乳房超音波、乳房 MRI において世界的に広く使用されているガイドラインであり、統一された用語による診断の標準化、カテゴリー判定のマネジメントとの連携、そしてエビデンスに基づく検証を目的としている。

今回の改訂では、BI-RADS US に非腫瘍性病変(non-mass lesion)の概念が導入される予定であり、これは日本における研究や診断の応用が先行してきた分野である。

ここでは国際委員会での企画として世界的な動向に注目しつつ、改訂の要点や non-mass lesion の診断の変遷について解説し、今後の動向や臨床での効果的な活用方法について考えたい。